

質 問 事 項	質 問 の 要 旨
1 防災無線の実態と活用方法について	震災後４年９カ月が経過しました。誰が見ても女川の地形の変化には驚くばかりです。高台造成という手段で住宅地を確保し、新たな町づくりを進めている一方で、非被災地区では、室内無線機の不具合等の声が聞かれます。そこで防災無線の実態や活用方法について伺います。
	(１) 非被災地区の受信状況の確認はしているか。
	(２) 造成地での無線受信試験は行っているのか。
	(３) 防災無線の拡大活用は可能か。(事故対応等)
	(質問の相手：町長・担当課長)
2 造成地より発生する赤土水対策は十分か	我が町の養殖漁業は県内トップクラスの水揚げ高を有する産業であります。
	中心部、離半島部の造成地により発生する赤土水は、直接的でなくても北浦、五部浦および女川湾内に流入しています。自然養水なら申し分ありませんが、赤土水汚泥は一つ間違うと、海面下の生物に悪影響をおよぼす恐れがあります。そこで伺います。
	(１) 現地での赤土水流水防止対策は。
	(２) 不十分であるとすれば、追加対策案は。
	(質問の相手：町長・担当課長)